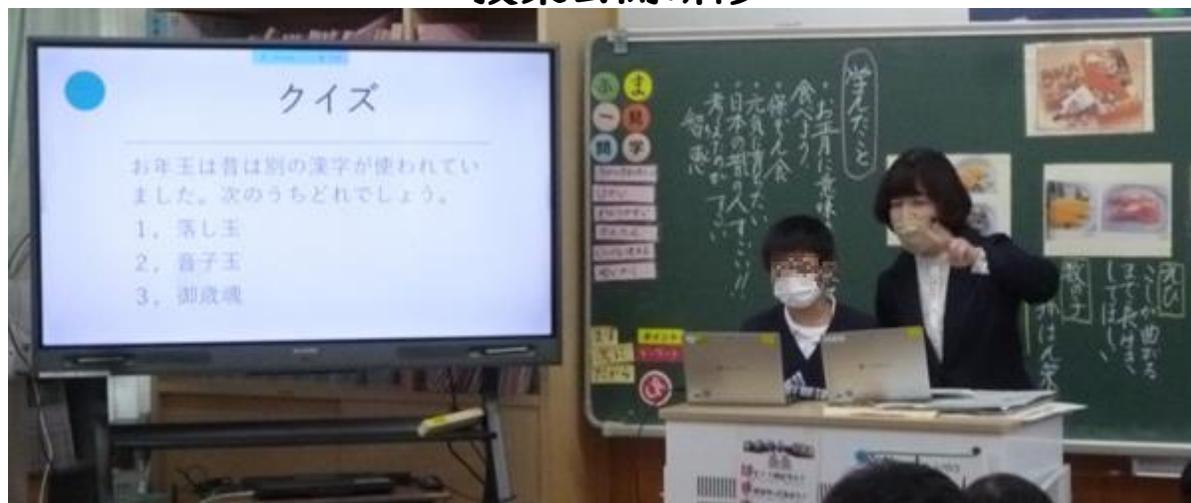


スーパーティーチャーによる一人一台端末を活用した 授業公開研修



唐津市立浜崎小学校 金丸 ゆか 教諭

主題名：伝統を受け継ぐ 教材名：「お正月料理」（第4学年 道徳科）

ICT活用のポイント

- ・それぞれの考えを一覧表示することで、自分の考えと友達のことを比較する。
- ・振り返りをプレゼンテーションソフトを使ってまとめる。
- ・おせち料理の中で、自分がいいなと思った料理について、理由も含めてまとめて提出する。（授業支援ソフト書き込み機能）

本時のねらい 正月料理の意味を知ることを通して、日本人の知恵のすばらしさに
気付き、それを受け継いでいこうとする心情を培う。

学習の流れ 全2時間（本時 2/2）

導入

- ①前時の学習を想起する。
- ②教材「お正月料理」を読み、話し合う。
(1)おせち料理の意味を知る。
(2)どの料理の意味に興味を持ったか、それはなぜかを発表する。

活用ポイント
【書き込み機能】
【一覧表示機能】

展開

- ③この学習をして学んだことをまとめる。

活用ポイント
【PowerPoint】

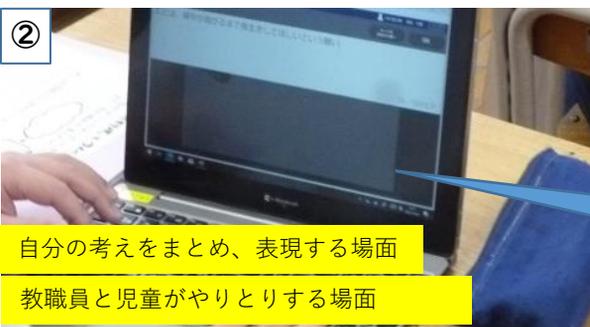
まとめ

- ④まとめを発表する。
友達の発表を聴く。

活用ポイント
【PowerPoint】

- ⑤教師の話を書く。





②

自分の考えをまとめ、表現する場面
 教職員と児童がやりとりする場面

②(2)どの料理の意味に興味を持ったのか。それはなぜかをまとめる。
 【授業支援ソフト：書き込み機能】

端末で書き込むことで、すぐにみんなと共有できます！



③

自分で調べる場面
 自分の考えをまとめ、発表・表現する場面

③（みんなの意見を聞いた後に）さらに興味を持ったことについて発表プレゼンにまとめる。
 【検索】【PowerPoint】

インターネットを活用することで、知りたい情報をすぐに収集し、すぐに資料を作ることができます。



③

教職員と児童がやりとりする場面

できた人から提出するのでクラス課題の進捗状況が一目でわかります。

2つを並べることで比較が簡単にできます。



④

自分の考えをまとめ、発表・表現する場面

④まとめを発表する。
 友達の発表を聴く。【PowerPoint】

共有機能を使うことで、児童の資料をすぐに電子黒板に映すことができます。



④

児童同士がやりとりする場面

電子黒板だけでなく、自分の画面を見ることで、資料の詳しい部分がよくわかります。

令和4年12月6日に行われた、スーパーティーチャー金丸ゆか教諭（唐津市立浜崎小学校）の実践です。子供たちは、調べたことを素早く資料にまとめ発表できています。端末の普段使いができ、生き生きと活動する子供たちの姿が印象的でした。

<授業公開研修に参加された先生方の声>

- ・タブレット端末を使ってどのように道德の授業をするのか、自分も悩んでいたのが、とても参考になりました。
- ・自分の考えを発表できない子も多いと思いますので、授業支援ソフトやパワーポイントでみんなの考えが分かるのはいいなと思いました。
- ・道德の授業でも、使うことができるのを知りました。他の教科でも活用していきたい。